

令和4年度事業（重点施策）の検証結果

基本目標 1 次世代を担う人づくり

基本目標 2 住みたい、住み続けたいまちづくり

基本目標 3 個性と魅力あふれるまちづくり

基本目標 4 地域力の高いまちづくり

基本目標 5 まちづくりを力強く推進する町政基盤づくり

事務事業マネジメントシートで行った分析の評価基準は次のとおり。

事業分析点数表

評価項目：	目的の妥当性	評価内容：	1. 妥当である	15点
評価視点：	<ul style="list-style-type: none"> ・町が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標設定か 		2. ほぼ妥当である	10点
			3. あまり妥当ではない	5点
			4. 妥当でない	0点
評価項目：	事業有効性	評価内容：	1. 有効である	15点
評価視点：	<ul style="list-style-type: none"> ・成果の向上につながっているか ・同じ目的を持つ他の事務事業はないか 		2. ほぼ有効である	10点
			3. あまり有効ではない	5点
			4. 有効でない	0点
評価項目：	資源投入の効率性	評価内容：	1. 効率的である	15点
評価視点：	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか 		2. ほぼ効率的である	10点
			3. あまり効率的ではない	5点
			4. 効率的でない	0点
評価項目：	サービス公平性	評価内容：	1. 公平である	15点
評価視点：	<ul style="list-style-type: none"> ・対象は適切か ・受益者負担は適正か 		2. ほぼ公平である	10点
			3. あまり公平ではない	5点
			4. 公平でない	0点
評価項目：	効果の達成度	評価内容：	1. 90%以上	15点
評価視点：	<ul style="list-style-type: none"> ・当初想定していた効果は得られたか 		2. 70%程度	10点
			3. 50%程度	5点
			4. 30%以下	0点

基本目標 1 次世代を担う人づくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	指標の名称	成果指標					実施結果 等												
				目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6	R7													
教育委員会	「勝浦町」への誇りを醸成	●恐竜事業 恐竜を核としたイベントを開催し魅力の発信	恐竜月間イベント参加者数	1400人	1400人	1400人	1400人	1400人	<p>【R4実施結果】</p> <p>1. 恐竜フェスティバル【7/16～8/21】</p> <p>2. 10/15化石の日講演会</p> <p>3. 丹波市児童との交流事業「竜学」10/8～10</p> <p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトマネージャー雇用経費 ・小中学校用恐竜学習教材印刷製本代 ・立川地区環境保全 <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>70/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>イベントは町内等関係団体の協力を得て実施でき参加者数も大幅に伸びた。町外からの参加者・来場者は大幅に伸びたが町内の参加者が少ない点が今後の検討課題である。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>子どもたちが夢を見つけ、追いかけて、叶えられる教育や、ずっと住み続けたい、将来戻ってきたいと思える環境づくりの一環として、恐竜を核としたまちづくりを推進し、地域の活性化を図るため今後も実施する。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	15	10	70/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	15	15	15	10	70/75																
3218人	6323人																				
教育委員会	「勝浦町」への誇りを醸成	●100年先を創る起業家育成事業 児童が主体的に考え実践する力を培うために、地域住民や専門家と関わりながら、地域の課題に取り組み、課題解決を図り、判断力や実行力を育てる。また、学習成果を学習発表会等で披露し、評価をもらい児童の自己肯定感を高める。	学習成果発表回数	1回	1回	-	-	-	<p>【R4実施結果】</p> <p>「総合的な学習」の授業時間に、各学年で学習活動テーマを決め実践する。</p> <p>【1・2年】自分達で作ったおもちゃのお店を開こう</p> <p>【3年】みかん学習「みかん新聞の作成」</p> <p>【4年】SDGs学習からの「摘果みかんバーバリューム製作」</p> <p>【5年】米作り学習「田んぼアートで勝浦町をPR」する。収穫した古代米は地元パン店とコラボし「恐竜チュロス」を作成。</p> <p>【6年】恐竜町おこし隊「みかんと恐竜の絵本」を作成。絵本製本費用の一部はクラウドファンディングで集めることに挑戦した。</p> <p>【横小マルシェの開催】3年生のみかんマスコットストラップ、4年生の「摘果みかんバーバリューム」、5年生「恐竜チュロス」、をよってネ市で販売し、6年生は恐竜絵本の予約販売を行った。売上金は、みかん保育園へ絵本棚、三輪車、作成した絵本を寄贈した。</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>70/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・町立小学校2校のうち、1校（横瀬小学校）からの希望があり県採択後実施した。全ての学校での取組みができればよいが、学校体制の違いや、学校カラーの違いにより同じにならないため偏りができてしまう点は今後検討が必要である。</p> <p>・児童アンケートでは児童の自己肯定感（自分にはよいところや得意なところがある（4%向上））や学習に関する意欲向上（6%向上）が見られるなど効果があった。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	10	15	70/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	15	15	10	15	70/75																
1回	1回	-	-	-																	

基本目標 1 次世代を担う人づくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
								【今後の方向性】 R4まで 令和3年度に引き続き、徳島県の委託事業に採択されての実施であったが、学校評価において、実施目的であった児童の自己肯定感や学習意欲向上に伸びが見られるなど一定の成果が上がった。今後は学校とも協議しながら実施の方向性を検討していく。													
教育委員会	教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ●ICT支援員の配置 ICT教育環境づくりを推進し、学び合い教え合う環境づくりを整える。	配置人数	1人	1人	1人	1人	1人	【R4実施結果】 <ul style="list-style-type: none"> ●ICT支援員の選定及び配置 ●教員からの相談への対応 【事業分析】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>妥当性</th> <th>有効性</th> <th>効率性</th> <th>公平性</th> <th>達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>75/75</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTについての知識が豊富な町内在住の方に業務を委託していることから、勝浦町内の学校の状況を把握していることもあり、学校からの要望への対応など、業務がスムーズに行われている。 ・学校からも評価を得ており。業務の委託について、費用対効果も高いと考える。 ・生比奈小・横瀬小・勝浦中において、派遣は、各校週1回を基本として、緊急で派遣が必要な場合は対応するという同条件のもと配置しているので、各学校間の公平性は保たれている。 【今後の方向性】 学校からも必要な人材として求められており、今後も継続して派遣を行う。	妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	合計	15	15	15	15	15	75/75
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度		合計											
15	15	15	15	15	75/75																
1人	1人																				

基本目標 2 住みたい、住み続けたいまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
建設課	橋梁の長寿命化	<p>●星谷橋架け替え事業</p> <p>星谷橋は、架設後60年以上が経過した橋梁であり、主要部材の劣化が著しく進行していることから、大規模更新を行い道路の安全性を確保する。</p>	事業進捗	地元説明	測量設計	調査設計	用地取得	工事着手	<p>【R4実施結果】</p> <p>道路測量設計を終え、橋梁・護岸の測量設計を進めている。</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>60/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ライフサイクルコストを精査した結果、架替を選択。</p> <p>・町道星谷中央線（星谷橋）は勝浦川兩岸を通る県道をつなぐ路線であり、地域住民の生活道路であるほか、通学路に利用されるなど重要な生活道路である。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>星谷橋架け替えには多額の費用が見込まれることから、有利な財源の確保に努めるとともに、関係者へ丁寧な説明を行い、スムーズな事業執行を目指す。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	15	0	60/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
15	15	15	15	0	60/75																
事業進捗	説明会実施	測量設計完了（道路部）																			
教育委員会	交通困難者対策	<p>●高校生の通学支援の確保</p> <p>公共交通機関のない阿南方面への通学手段確保</p>	乗車延べ人数	1205人	962人	-	-	-	<p>【R4実施結果】</p> <p>阿南方面バス運行支援補助金 675千円 乗車延べ人数 629人（令和4年10月運行終了）</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>70/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・公共交通機関のない阿南方面への通学手段を確保し高校等進学時の選択肢が広がるとともに保護者負担の軽減</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>本事業は、令和4年度を持って廃止。</p> <p>令和5年度からは、「勝浦町高校生等修学支援金給付事業」として、これまでの阿南市方面に通学する高校生等に限らず、事業の実施要綱の定めで対象となる高校生等に対して支援事業を実施。</p> <p>事業の実施により、高校生等の保護者等の経済的負担を軽減し、都市部に比べて高校等の数が少なく、通学や学習環境が困難な状況下にある本町における教育の機会均等と地域社会に有為な人材の育成を目指す。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	10	15	70/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
15	15	15	10	15	70/75																
乗車延べ人数	1542人	629人	-	-	-	-															

基本目標 2 住みたい、住み続けたいまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
総務防災課	交通困難者対策	<p>●公共交通の維持</p> <p>喫緊の課題となっている公共交通体制の整備を進めることにより、高齢者等交通困難者の利便性向上を図る</p>	地域公共交通体制の整備	100%	100%	100%	100%	100%	<p>【R4実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内検討委員会による体制整備に向けた方向性の決定 ・路線バス廃止区間移動支援助成事業の実施。 与川内・坂本地区在住の車を運転出来ない方を対象としたタクシー助成の実施。 ・体制整備（令和7年度完了）に向けたスケジュールの作成 <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>55/75</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・町民の交通手段の確保、利便性向上を目的としているため、目的は妥当である。 ・類似事業はあるが、新たな公共交通体制整備に向けた事業のスクラップビルドを検討し、各課と連携調整を行っている。事業実施結果を踏まえ、利用者にあった体制整備を行うため、成果の向上に繋がっていると考えられる。 ・路線バス廃止区間（坂本・与川内地区）居住者には公平にサービスを提供している。 ・新たな公共交通体制の整備ができていないため、効果の計測が出来ない。 <p>【今後の方向性】</p> <p>令和4年度は、現状課題の洗い出し・方向性の決定、応急施策から恒久施策への転換に向けた新たな実証実験事業の検討等を行った。令和5年度以降、本格的に実証実験等を実施し結果に基づき最適な公共交通体制整備を進めていきたい。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	10	15	15	0	55/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
15	10	15	15	0	55/75																
登録人数	80人	80人	85人	85人	90人	<p>【R4実施結果】</p> <p>登録人数 77名 延べ利用人数 610名</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>75/75</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・町内での移動手段の一つで、外出などの移動支援ができています。 ・対象などは無く、誰でも使えるサービスとなっている。 ・多くの方が、リピートして利用してくれています。 <p>【今後の方向性】</p> <p>登録者数が横ばい(人の変動はある)のため、今後も周知に努め登録者数の増に努める。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	15	15	75/75			
目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計																
15	15	15	15	15	75/75																
福祉課	交通困難者対策	<p>●福祉移送事業</p> <p>地域で自立した生活が送れるよう、社会生活上不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加のための外出の際の移動を支援し、地域における自立生活と社会参加を促すとともに福祉の増進を図る。</p>	登録人数	77人	77人																

基本目標 2 住みたい、住み続けたいまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
建設課	土地利用の推進	<p>●宅地造成事業</p> <p>住環境の向上やコミュニティの維持を目的として宅地を整備・分譲する。</p>	事業進捗	調査	造成工事	販売、調査	用地確保	造成工事	<p>【R4実施結果】</p> <p>横瀬地区（4区画）造成工事完了</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>40/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・H28～29年度に三溪（前川地区）で4区画、H30年度に沼江地区で3区画をそれぞれ分譲し、効果的に土地利用が推進できている。</p> <p>・新築を検討している人のみが対象となるため、対象者が限定される。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>早期に分譲できるよう情報発信に努める。</p> <p>不動産業・宅地建物取引業者への仲介を検討する。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	5	5	0	40/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
15	15	5	5	0	40/75																
調査完了	造成工事完了																				
建設課	移住、定住支援の推進	<p>●住宅新築・改修支援事業</p> <p>住宅新築や住宅リフォームを支援し、移住・定住を推進する。</p>	補助金累計交付件数（リフォーム）	50件	80件	110件	130件	150件	<p>【R4実施結果】</p> <p>移住・定住住宅改修補助金（リフォーム補助金） 33戸</p> <p>移住・定住支援住宅新築補助金（住まい応援事業） 6戸</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>70/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>住民ニーズを反映した住宅支援事業であり、移住・定住に効果がある。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>住宅リフォームや住宅新築支援事業を継続し、移住・定住を推進する。</p> <p>リフォーム事業は、より公平な受付方法を検討する。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	10	15	70/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
			15	15	15	10	15	70/75													
				60件	93件																
補助金累計交付件数（新築）	50件	57件	64件	71件	78件																
	52件	58件																			

基本目標 2 住みたい、住み続けたいまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
福祉課	出会いの場の提供	<p>●結婚支援事業</p> <p>独身者に出会いの場の機会創出や結婚に関する情報の提供を行い、移住・定住の促進につなげます。</p>	マリッサとくしまマッチング会員登録数	30人	30人	30人	40人	40人	<p>【R4実施結果】</p> <p>登録者 0名 愛出逢い相談所開催 婚活イベント 1回</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>45/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・結婚を機に町内への移住・定住促進し、人口減少等への問題解決に繋がっている。 ・結婚支援の専門である、マリッサとくしまと連携し、町で登録料を補助している。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>マリッサとくしまの会員登録数者の増加を図るため、ホームページ等で情報発信をしていきたい。勝浦町内での婚活イベントを徳島県、マリッサとくしま、町の3者で連携し、開催した。今後も連携し婚活イベントの実施に取り組んでいく。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	10	15	10	10	0	45/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
10	15	10	10	0	45/75																
1人	0人																				
企画交流課	空き家対策	<p>●空き家活用による移住促進事業</p> <p>町内の空き家を移住希望者に紹介することで、町への移住を促進する。</p>	新規調査物件数	5件	5件	5件	5件	5件	<p>【R4実施結果】</p> <p>空き家調査数 2件 新規登録物件数 7件 移住フェア参加 1件</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>65/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・民間賃貸が少ない、過疎化が進む町の状況から空き家の利活用による移住施策は有効である。 ・優良空き家の掘り起こしが十分ではなく、移住につながっていないため、外部委託も模索する必要あり。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>優良空き家の掘り起こしを重点に新規物件の登録のために、地域住民の協力や制度の周知を充実させる必要がある。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	5	15	15	65/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
15	15	5	15	15	65/75																
2件	3件																				

基本目標 2 住みたい、住み続けたいまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
建設課	空き家対策	<p>●老朽危険空き家除却支援事業</p> <p>老朽危険空き家等の除却費用の一部を支援することにより、空き家の放置を抑制し、地域住民の安全を確保する。</p>	危険空き家に対する情報提供・助言・指導・判定件数累計	10件	20件	30件	40件	50件	<p>【R4実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き家判定業務 6件 老朽危険空き家除却補助金交付 10件 <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>15</td> <td>65/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>広報・HPや区長会で情報発信し除却を推進している。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>特定空家等認定基準に基づき、必要に応じて認定し対策を進める。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	5	15	65/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	15	15	5	15	65/75																
13件	19件																				
建設課	住宅の耐震化	<p>●木造住宅耐震事業</p> <p>地震発生時の被害を軽減するために住宅の耐震化【減災化】を推進する。</p>	戸別訪問戸数累計（耐震診断・改修推進）	100戸	150戸	200戸	250戸	300戸	<p>【R4実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 戸別訪問 60戸 耐震診断 14戸 耐震補強計画 14戸 耐震改修 1戸 ブロック塀安全対策 1戸 <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>50/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・広報/HPでの情報発信や戸別訪問による推進。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>戸別訪問や制度改正による推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施設計費用も補助対象に含め、補助上限額の引上げによる推進。 高齢世帯等には減災化（家具固定等）を併せて推進。 	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	5	10	5	50/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	15	5	10	5	50/75																
200戸	260戸																				

基本目標 2 住みたい、住み続けたいまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
総務防災課	消防救急体制の充実	<p>●広域消防化</p> <p>将来にわたり消防力の維持・強化を行っていくため非常備消防の解消を目指す。</p>	広域常備消防化	協議	協議	協議	協議	協議	<p>【R4実施結果】</p> <p>県とも連携しての近隣市と広域消防についての意見交換や協議を実施</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>50/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・非常備消防である本町において、将来にわたって消防力の維持・強化を図るため必要不可欠</p> <p>・常備化を推し進めるために協議・検討していくことは有効であるが、相手側の実状も考慮しつつ、粘り強く慎重に進めていくことが必要である。</p> <p>・住民生活において、安全・安心に関わる事業である。</p> <p>【今後の方向性】</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	10	15	10	0	50/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	10	15	10	0	50/75																
協議	協議																				

基本目標3 個性と魅力あふれるまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	指標の名称	成果指標					実施結果 等												
				目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6	R7													
企画交流課	ブランド化の推進	<p>●阿波かつうらブランド化事業</p> <p>地域固有の資源を活用した商品・サービスの高付加価値化による地域ブランドづくりをすることで、地域経済の活性化を図る。</p>	阿波かつうらブランド商品登録数	10品	10品	5品	5品	-	<p>【R4実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅、産直、地域活性化協会及び町内商工の連携強化と、道の駅エリアの特産品販売や情報発信の拠点化 阿波かつうらブランド認証制度開始 阿波かつうらブランド推進協議会設立 会員10人（R5.3末） <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>65/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・阿波かつうらブランド推進協議会会員自らが活動しており、幅広く受け入れしている。</p> <p>・阿波かつうらブランド商品の認証制度開始が遅れたため、登録商品数は伸び悩んだが、会員主体の活動は概ね促進できた。</p> <p>【今後の方向性】 R6まで</p> <p>地域再生計画（3年）の初年度であり、次年度に向けての準備は順調にできている。令和5年度では、阿波かつうらブランド認証制度の開始、推進協議会の組織確立、道の駅及びレヴィタの管理体制の整理を行う。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	10	15	10	15	15	65/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
10	15	10	15	15	65/75																
11品	3品			-																	
農業振興課	ブランド化の推進	<p>●市場販売戦略展開事業</p> <p>都市部消費地において2月・3月は、「阿波かつうら」「勝浦熟成みかん」の時期であるという消費者の認知度を向上させる。</p>	勝浦みかん販売店舗数	30店舗	30店舗	40店舗	40店舗	50店舗	<p>【R4実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> JR西日本駅構内にデジタルサイネージを展示（7駅・214面、2/13～2/26）。 JA・大阪北部中央青果・東果大阪と連携し広告展開駅周辺の量販店において販売。 奈良県郡山市の大型量販店で徳島県とタイアップし、【勝浦熟成みかん】の宣伝販売。 <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>35/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・阿波かつうらブランドの一環として取り組む。</p> <p>・駅広告事業は、大阪駅に限っても1日に50万人以上が利用するので目を引くデザインということが前提ではあるが有効。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>JA・販売店との間で出荷計画についての協議の場を作り、話し合ったが効果は結果的になかった。令和5年度からはターゲット市場を大阪市場から、出荷組合+JA出荷でより供給量が確保できる横浜市場にシフトをする。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	10	10	5	10	0	35/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
10	10	5	10	0	35/75																
0店舗	2店舗																				

基本目標 3 個性と魅力あふれるまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
農業振興課	6次産業化の推進	<p>●6次産業化推進事業</p> <p>オレンジファクトリーを営業許可基準充足施設化し、営業許可取得者を増やし、地場産品を活用した商品化を目指す。</p>	営業許可取得者数	1者	1者	1者	1者	-	<p>【R4実施結果】</p> <p>商品開発実績 かきまぜごはん（筍、柚）</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>15</td> <td>60/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・コアな利用者は一定の成果（商品開発販売）へ繋がっているが、まだ一部の利用者しか有効性を示せていない。</p> <p>・公平性ある設備であるが、十分に施設の周知が図られておらず、現状では利用者に偏りがある。</p> <p>・オレンジファクトリーを活用して商品開発できた。</p> <p>【今後の方向性】R6まで</p> <p>令和4年度からは製造販売可能な施設となった。施設周知を強化し、営業許可取得者が当施設で商品化に注力できる体制を整えていきたい。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	10	15	5	15	60/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
15	10	15	5	15	60/75																
営業許可取得者数	1者	0者				-															
企画交流課	関係人口の増加	<p>●若者の地方体験交流事業</p> <p>都会の若者や学生を受け入れ、インターンシップやフィールドワークを通じて地元住民の交流や関係人口の増加を目指す。</p>	受入人数	14人	15人	15人	15人	15人	<p>【R4実施結果】</p> <p>コロナの影響により、学生のフィールドワーク等受入れはできなかったが、大学間の連携により現地調査やアンケートを地元大学が担当し3月に結果報告会が実施された。</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>25/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・交流人口の増加及び若者による地域の活性化を目的としている。</p> <p>・受入先などを拡充し、町内事業者と連携する必要がある。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>活動の制限も緩和されてきたことから、フィールドワークなどの受け入れを再開し地元との交流を通じて関係人口の増加を目指す。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	5	0	5	0	25/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
15	5	0	5	0	25/75																
受入人数	0人	0人																			

基本目標3 個性と魅力あふれるまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	指標の名称	成果指標					実施結果 等												
				目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6	R7													
農業振興課	農業経営の支援	●みかん収穫求職者向け広報事業 勝浦町の基幹産業である柑橘栽培における季節性労働力の確保	求職者数	15人	20人	25人	-	-	【R4実施結果】 ・アルバイト 33名 ・募集農家 14件(25名を希望) ・マッチング 20名 【事業分析】 <table border="1" style="margin: 5px auto;"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>65/75</td> </tr> </tbody> </table> ・昨年度の取り組みにより、求職者は10名→31名→33名、受入農家は7件→10件→14件となったので効果があったと考える。 ・事業計画の段階からJAと共同で取り組むことで、効率的な事業実施ができていると考える。 【今後の方向性】 R5まで R2、R3の取り組みにより、アルバイトの確保はある程度できているので、今後はマッチング業務におけるJAの事務負担軽減、農家に対するアルバイト周知が課題と考える。	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	10	10	15	65/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	15	10	10	15	65/75																
31人	33人	-	-																		
企画交流課	企業誘致の推進	●サテライトオフィス等誘致業務委託料 サテライトオフィス等の進出による関係人口・移住者の増加及び地域の活性化	マッチング回数	3回	3回	3回	3回	3回	【R4実施結果】 ①サテライトオフィスの進出1社 ・マッチングセミナー開催回数 2回（東京都） ②県主催マッチングイベントへの参加 ・東京1回、大阪1回（計2回） 【事業分析】 <table border="1" style="margin: 5px auto;"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>15</td> <td>50/75</td> </tr> </tbody> </table> ・都市部の企業1社がオフィスかつうら2に入居し、結果的に空き家を借受での本格的な進出につながった。また、視察ツアー参加企業との連携、視察先事業者との関係人口構築により、地域の活性化に寄与した。 【今後の方向性】 令和2年度から取り組んできたサテライトオフィス誘致を引き続き推進するとともに、進出企業と地元の連携を深め地域課題の解決を図る必要がある。	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	10	10	10	5	15	50/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
10	10	10	5	15	50/75																
2回	4回																				

基本目標 3 個性と魅力あふれるまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	指標の名称	成果指標					実施結果 等												
				目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6	R7													
企画交流課	新たな産業の振興	<p>●杉の子支援事業</p> <p>地域の特性を活かしたビジネスや企業を誘導するとともに、創業者・創業希望者を支援することで商工業の振興を図る。</p>	創業支援関係補助金利用者数	1人	1人	-	-	-	<p>【R4実施結果】</p> <p>補助金 1件 1,000,000円 ※R5年度に繰越</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>65/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・事業の種類や規模により、期待する雇用の確保には至らない場合がある。</p> <p>・起業相談があった場合、補助金の案内をしており、起業に至った場合は補助金活用することがほとんどである。</p> <p>【今後の方向性】R4まで</p> <p>基金が終了となるため、杉の子補助金は終了する。後継事業として、ふるさと納税を活用して補助する「阿波かつうら未来応援事業」を令和5年度から開始する。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	10	10	15	65/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	15	10	10	15	65/75																
3人	1人	-	-	-																	
企画交流課	町の魅力の醸成	<p>●イベント開催支援事業</p> <p>観光振興事業を行う町内で活動する団体に対して、補助金を交付し、町の観光振興及び活性化を図る。</p>	補助金申請件数	5件	5件	5件	5件	5件	<p>【R4実施結果】</p> <p>・勝浦町観光振興事業助成金 2団体へ交付（さくら祭り 200千円、山西活性委員会（LED）192千円）</p> <p>・勝浦町地域活性化対策事業費補助金交付 1団体へ交付（（ビッグひな祭り 900千円）</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>55/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・イベントを通して町の観光振興及び活性化が見込めるが、新規のイベントの醸成は困難な状況であると考えます。</p> <p>・前年と比べて申請件数は増加しているが、当初想定していた申請件数に至らなかった。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>イベントを継続して開催するために補助金の交付は効果的であると考えます。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	10	5	15	10	55/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	10	5	15	10	55/75																
1件	3件																				

基本目標3 個性と魅力あふれるまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	指標の名称	成果指標					実施結果 等												
				目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6	R7													
企画交流課	町の魅力の醸成	<p>●国内外誘客推進事業</p> <p>アフターコロナの需要回復を見据え広域での観光客誘致に取り組む。</p>	情報発信回数	4回	4回	4回	4回	4回	<p>【R4実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光情報サイトの更新 13回 ファムツアーの実施 3回 計21名参加 オンライン予約サイトの活用 販売1コンテンツ アンケート調査 400件（オンラインアンケート） <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>55/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>勝浦さくら祭り記事が4000PV、みかん狩り記事1000PV以上となっており、観光情報サイトから町の観光情報へアクセスしてる人が増加している。また、継続的な活動により、台湾からの団体ツアー造成が2社からあり、延べ200人以上の外国人観光客の誘致に成功した。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>民間企業の持つノウハウやネットワークを活かした定期的なSNSの情報発信やSNSを通じて町を訪問する観光客が増加傾向にある。また、体験コンテンツの造成では、既存の資源と流行を取り入れたコンテンツ造成により体験受入の年齢像の幅が広がった。新型コロナの収束と2025大阪万博に向けて観光需要が高まることに期待して引き続き事業を推進する。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	10	10	10	10	15	55/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
10	10	10	10	15	55/75																
7回	13回																				
企画交流課	町の魅力の醸成	<p>●映えるフォトスポット事業</p> <p>観光資源の再確認と、観光・交流人口の増加を図る。</p>	フォトスポット（累計）	2箇所	2箇所	3箇所	4箇所	5箇所	<p>【R4実施結果】</p> <p>フォトスポット設置（発掘） 2カ所</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅トイレ壁面 ひまわり畑（河川敷、道の駅裏：期間限定） <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>65/75</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> フォトスポットの発掘、設置で町外からの誘客につながる。 花畑などは人気があり誘客につながるが、期間限定なうえ、気象条件等により出来栄が左右されるため、安定性がない。 道の駅で行われるイベントにフォトスポット設置を組み込むことで、経費削減を図る。 個人の利益を追求するものではなく、町の観光活性化に寄与するものである。 <p>【今後の方向性】</p> <p>フォトスポット設置の有効性を上げるため、町内回遊のための観光事業やイベント事業に併せて行うことを検討し、令和5年度は恐竜フェスティバル期間内に行うARイベントにフォトスポット設置を組み合わせる。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	10	10	15	15	65/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	10	10	15	15	65/75																
1箇所	2箇所																				

基本目標4 地域力の高いまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
福祉課	介護予防・日常生活支援の推進	<p>●介護予防・日常生活支援の推進</p> <p>高齢者がいつまでも健康でいきいきとした生活を送れるよう、健康づくり、介護予防を推進</p>	いきいき元気教室参加者数（延べ人数）	180人	180人	180人	180人	180人	<p>【R4実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いきいき百歳体操 実施回数11回（コロナで1回中止）参加者数のべ44人 事業費 包括支援センター運営費に含まれる。 ・いきいき元気教室 実施回数12回 参加者数のべ186人 事業費 包括支援センター運営費に含まれる。 ・高齢者の保健事業 実施回数2回 参加者数18人 事業費 26,076円 ・地域介護予防活動支援事業 実施日数12日 参加者数のべ232人 事業費 400,000円 ・健康福祉まつり 開催日R4. 10. 15 参加者数86人 事業費416,624円 ・高齢者健康づくり推進事業 利用者のべ2,262人 事業費 4,976,400円 ・通所型介護予防事業 利用者のべ313人 事業費686,600円 ・訪問型介護予防事業 利用者数のべ3人 事業費9,000円 <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>70/75</td> </tr> </tbody> </table>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	15	10	70/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	15	15	15	10	70/75																
200人	186人				<p>・高齢者が自分にあった介護予防事業に参加できるよう、複数の内容の異なる介護予防事業を行っている。</p> <p>・委託事業については、経費、人材面において町が直接実施するより効率的である。</p> <p>・対象者は事業毎に明確にしており妥当である。また広報で参加者募集、事業の案内を行っている。昼食や教材を提供する事業（高齢者健康づくり推進事業、通所型介護予防事業、いきいき元気、パワーアップ）については、利用料を徴収している。</p> <p>・コロナ禍の影響もあったと思うが、参加者のべ人数がR3と比較し減少した。 R3 200人 → R4 186人</p> <p>【今後の方向性】 介護予防事業として必要な事業である。</p>																
福祉課	地域子ども子育て支援の充実	<p>●はぐくみクラブ運営事業</p> <p>親子のふれあい、世代間の交流等地域住民による自主的活動を促進し、子育て家庭の支援や児童の育児を円滑にする。</p>	利用者数（延べ人数）	576人	480人	480人	480人	480人	<p>【R4実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子ヨガ教室 ・知育遊びわかばちゃんタイム ・ベビーマッサージ教室 ・季節のイベント <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>60/75</td> </tr> </tbody> </table>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	5	10	15	60/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	15	5	10	15	60/75																
520人	610人				<p>・核家族化、転入などで身近に相談できる人がいない家庭や、育児不安や悩みを相談できる場、仲間づくりの場の提供に繋がっている。</p> <p>・はぐくみクラブ補助金等活用し、お母さん達で協力しながら運営を行ってきたが、育児を行いながら運営を行うのは負担が大きく、町で運営を行っていただけなのか？との相談があり、R4からははぐくみクラブ開催曜日に合わせて町が講師等を派遣し活動を行った。</p> <p>・新型コロナウイルス感染拡大に留意する中で教室等の開催日数、参加者数は目標値を達成できた。</p> <p>【今後の方向性】 少子化や、低年齢から保育園入園する傾向にある現状で、お母さん達が主体となりはぐくみクラブ運営を行うことが難しい状況となっている。子どもを育てるすべての家庭に対し、子育ての不安や孤立感を軽減するため、情報提供や相談機能の確保、保護者同士の交流の場造りは必要であり、令和4年度は、はぐくみクラブを継続しながら、子育て交流支援センターでの事業として町も運営に協力している。今後は、指定管理者選定時に事業委託を検討する。</p>																

基本目標 4 地域力の高いまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
企画交流課	勝浦病院の機能向上	●医師確保事業 勝浦病院の医師の高齢化が進む中で次世代の医師確保を目指す。	補助金活用の事業実施		5回	2回	2回	2回	<p>【R4実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会 ・徳島大学医学部生との交流会 ・ウォーキング大会 ・勝浦病院ロビー展示 <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>60/75</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・住民自らが地域医療に関心をもち、活動を通じて医学部学生との交流や町のPRにより将来的に町で勤務してもらえる医師の確保を目指している。 ・講演会の講師選定においても時々にあった講師を選定、また勝浦病院とも相互援助の活動が行われている。 ・団体への補助金交付により、メンバーを中心に年間を通じて幅広い活動が行えた。 <p>【今後の方向性】</p> <p>勝浦の地域医療を考える会の活動により住民への地域医療に関する意識向上や、医学部生との交流に貢献いただいていることから、勝浦病院や町も支援をする。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	10	10	15	15	10	60/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
10	10	15	15	10	60/75																
			4回																		
福祉課	救急医療体制の充実	●救急医療体制の充実 診療時間外での救急医療体制の確保	周知回数	13回	13回	13回	13回	13回	<p>【R4実施結果】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①救急医療対策在宅当番医制運営事業 ②病院群輪番制病院運営事業 医療センター、原田病院 ③救急医療体制の周知 <ul style="list-style-type: none"> ・在宅当番医のお知らせ 毎月広報 ・救急の日 9月号 <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>75/75</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・全町民が安心して暮らせるように休日・夜間の救急医療体制を確保することは行政の責務である。 ・救急医療体制の確保は医療機関に委託しないと（協力してもらわないと）できない。委託料や補助金額は、体制確保及び維持のため県下全市町村が同じ案分ルールに沿って算出しているため、町独自に削減することはできない。 ・救急医療体制の確保及び維持ができています。 <p>【今後の方向性】</p> <p>救急医療体制の確保及び維持ができています。在宅当番医等の広報をもっとしていく。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	15	15	75/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	15	15	15	15	75/75																
			13回	14回																	

基本目標 4 地域力の高いまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
総務防災課	行政の災害対応能力向上	<p>●行政の災害対応能力向上</p> <p>平時から、災害被害を未然に防ぐ防災及び災害被害を最小限に抑える減災に対する取組意識の向上と、災害時における対応能力の向上及び環境整備</p>	災害対応関連の資格取得率	52%	59%	66%	73%	80%	<p>【R4実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員に対する災害時の初動対応マニュアル教育 情報伝達訓練（スダチくんメール） 災害対策本部設置訓練（職員による配置訓練）※各課1名程度 災害対応図上訓練 ※課長 <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>60/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・本町は消防非常備であり、地域防災マネージャーの資格を持つ専門家が職員にしていることは、目的達成につながっている。</p> <p>・まずは、自治体において災害対応能力向上を行う必要がある。</p> <p>・成果目標としての資格取得率向上に、現時点ではつながらなかった。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>成果指標である資格取得者数については、新型コロナウイルス感染症の影響が大きいと考える。一方、昨年度に比べ、図上訓練等を開催したことなどにより行政の体制整備は向上していると感じている。以上のことから、継続して、事業に取り組むとともに、成果指標については、総合計画見直しのタイミングで見直したい。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	15	0	60/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	15	15	15	0	60/75																
45%	48%																				
総務防災課	地域、住民の防災意識の向上	<p>●災害に強い勝浦町事業</p> <p>大規模自然災害等に備えるため、事前防災・減災と迅速な復旧復興に資する施策を、まちづくり政策や産業政策も含めた総合的な取組として計画的に実施し、強靱な地域づくりを推進すること。</p>	防災講習会の開催回数	2回	2回	2回	2回	2回	<p>【R4実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> マイタイムライン説明・作成会 勝浦町内13行政区及び2団体 計約240名 全町一斉防災訓練時において（一社）国土と未来の会と連携し小型無人機による状況確認及び災害対策本部へへの映像伝達 アクションガイドブックを各戸配布 ※R2作成 洪水ハザードマップ共 <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>65/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・最新のハザードマップの確認やマイタイムラインの作成により、自助・共助の意識向上やマイタイムライン活用による逃げ遅れ防止につながることが期待できる。</p> <p>・職員が説明会を開催することにより住民からの信頼効果を得ることができると同時に各地区の災害に関する課題やニーズを得ることができる。</p> <p>・達成目標としている全地区2回の開催はできなかった。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>開催できていない地区に対し、区長や自主防災会組織会長等に粘り強く働きかけ、全地区での開催としたい。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	15	5	65/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	15	15	15	5	65/75																
1回	1回																				

基本目標4 地域力の高いまちづくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
総務防災課	防犯活動の推進	<p>●防犯活動の推進</p> <p>地域の中で起こりうる犯罪を防止するため、犯罪が発生しにくい環境を整備することで、安心して暮らせる地域社会の実現を図る。</p>	防犯カメラの設置	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	3箇所	<p>【R4実施結果】</p> <p>防犯灯設置等 4件：249,700円 防犯灯修繕等 8件：239,800円</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>70/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・施設管理のみならず、防犯や周辺の動き、人の出入りなどの確認に有効であり、今後、町施設への設置を進めていく。</p> <p>・施設管理や防犯としては有用である。しかし、一方で記録映像の個人情報等の問題がある。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>防犯上、犯罪抑止や原因究明等に有用であり、引き続き設置を進めていく。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	10	15	70/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	15	15	10	15	70/75																
2箇所	0箇所																				
住民課	交通安全活動の推進	<p>●交通安全推進事業</p> <p>交通安全に対する意識を普及し、交通安全を促進する。</p>	啓発実施団体への補助金交付	4件	4件	4件	4件	4件	<p>【R4実施結果】</p> <p>・4月：春の交通安全運動、5月：秋の全国交通安全運動実施 ・6月：交通事故ゼロ2,000日達成キャンペーン実施 ・3月：交通安全啓発キャンペーン実施 ・交通安全活動実施団体への補助金交付</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>70/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・各団体が交通安全啓発の活動を行っている。</p> <p>・啓発により交通安全に貢献している。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>各キャンペーン活動及び各団体の活動により交通安全に貢献している。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	15	10	70/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	15	15	15	10	70/75																
4件	4件																				
住民課	消費者保護の推進	<p>●消費者保護対策事業</p> <p>消費者被害の未然防止や拡大防止を図る。</p>	消費者研修会の開催	1回	1回	1回	1回	1回	<p>【R4実施結果】</p> <p>・小松島市消費生活センターとの相談業務協定 ・消費者安全確保地域協議会・研修会開催 ・研修会参加 ・広報掲載</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>75/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・研修会、広報掲載、グッズ配布により、消費者被害の未然防止を図った。</p> <p>・広報掲載、会議へ参加し消費者被害の啓発を行った。</p> <p>・消費者被害なし</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>消費生活センターとの連携や各種団体との協働により引き続き消費者被害の啓発・予防を図っていく。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	15	15	15	15	75/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	15	15	15	15	75/75																
1回	1回																				

基本目標5 まちづくりを力強く推進する町政基盤づくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
企画交流課	住民参画・協働によるまちづくりの推進	<p>●特定地域づくり事業協同組合事業</p> <p>人口減少による担い手不足の解消と雇用の場の提供による移住者の増加で地域の課題解決を目指す。</p>	特定地域づくり事業協同組合設立と運営	設立と継続	設立と継続	設立と継続	設立と継続	設立と継続	<p>【R4実施結果】</p> <p>6月 設立発起人を選定し協議 7月～8月 当初設立4者候補者への事業説明 10月～ 組合の事務局組織体制準備 12月 令和5年度予算へ設立準備補助金計上 令和5年2月～3月 設立に向けての事前協議（3回）</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>45/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・人口減少地域での担い手不足解消を目指して雇用の場を提供することで都会からの移住者の増加を目指す。 ・国の交付金制度に基づき、組合運営費を町から支出することで安定的な運営を目指すことが大きな課題。 ・組合支出金の額も含め、幅広く周知を行い、町内の事業者の開拓と派遣職員の確保に努める必要がある。 ・予算化はなかったが、事前取組みとして、設立に向けての組織体制が整った。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>令和5年度に設立支援の予算を計上したことから、年度内の設立と事業認定、事業開始を目指し県とも連携して支援を行う。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	10	10	10	10	5	45/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
10	10	10	10	5	45/75																
協議	組織体制構築の事前準備																				
住民課	男女共同参画意識の形成	<p>●男女共同参画事業</p> <p>男女共同参画社会の実現を目指すために、男女共同参画推進の指針となる「勝浦町男女共同参画計画」を策定する。</p>	勝浦町男女共同参画基本計画策定（3年）研修会等開催（4年～7年）	100%	1回	1回	1回	1回	<p>【R4実施結果】</p> <p>広報啓発</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>50/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・勝浦町男女共同参画基本計画をもとに誰もが個性と能力を発揮し、いきいきと活躍できる社会を実現する。 ・身近な男女共同参画（家事は家族みんなの仕事・子育てはお互いが協力し合うもの等）について広報啓発を行った。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>今後も広報掲載、研修会等の開催を継続して行う。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	10	10	10	10	10	50/75
			目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計													
10	10	10	10	10	50/75																
	100%	1回																			

基本目標5 まちづくりを力強く推進する町政基盤づくり

担当課	施策	事業名及び事業目的	成果指標					実施結果 等													
			指標の名称	目標（上段）・実績（下段）																	
				R3	R4	R5	R6		R7												
住民課	広聴機能の充実	<p>●広報広聴モニター事業</p> <p>住民と行政が町政の情報を共有しながら相互理解を深めるとともに、住民の町政への参画を促し、連携・協働によるまちづくりをより一層推進する</p>	住民アンケートの実施	3回	3回	3回	3回	3回	<p>【R4実施結果】</p> <p>9月 アンケート実施 10月 アンケート結果公表（モニター数62名）</p> <p>【事業分析】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目的の妥当性</th> <th>事業の有効性</th> <th>資源投入の効率性</th> <th>サービスの公平性</th> <th>効果の達成度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>5</td> <td>50/75</td> </tr> </tbody> </table> <p>・広聴力を強化し、町民、幅広い世代の多様なニーズを的確に把握し、協働のまちづくりを推進するため必要。 ・アンケート回答者は広報及びホームページで募集 ・当初予定していたアンケートの実施回数ができなかったが、実施内容等を精査し庁舎内の関係を密にし、広く実施していく。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>計画的な実施が必要である。</p>	目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度	合計	15	5	10	15	5	50/75
				目的の妥当性	事業の有効性	資源投入の効率性	サービスの公平性	効果の達成度		合計											
15	5	10	15	5	50/75																
1回	1回																				